

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 呼吸器内科

2022年12月1日現在

連絡先 鏑木 孝之 (カブラギ タカユキ) t-kaburagi@chubyoin.pref.ibaraki.jp

お問合せ 0296-77-1121 (PHS 5701)

診療科の特色

「総合診療専門診療の整った環境で呼吸器救急診療が行える、肺がんの集学的治療の臨床試験に参加できる、結核を含む感染症診療ができる、局所 麻酔下胸腔鏡など専門呼吸器内視鏡診療ができる！」

診療スタッフ

常勤医 8名(時短勤務1名)、内科専攻医 1名、初期研修医 2-3名、非常勤医師 1名

【常勤医師】

鏑木 孝之 (副院長兼呼吸器内科部長兼呼吸器センター長)

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、筑波大学臨床教授、東京女子医科大学呼吸器内科非常勤講師

橋本 幾太 (呼吸器内科部長兼感染制御室室長)

日本内科学会認定医、日本結核・日結核性抗酸菌学会結核・抗酸菌症認定医、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、インフェクションコントロールドクター(ICD)

山口 昭三郎 (呼吸器内科部長(呼吸器内視鏡担当))

日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医、日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症認定医

吉川 弥須子 (呼吸器内科部長(抗酸菌症担当))

日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症認定医 指導医、日本禁煙学会認定医・指導医、インフェクションコントロールドクター(ICD)

田村 智宏 (呼吸器内科部長(腫瘍担当))

日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医

山田 豊 (呼吸器内科医長)

日本内科学会認定医、日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症認定医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、インフェクションコントロールドクター(ICD)

大久保 初美 (呼吸器内科医長)

日本内科学会総合内科専門医

山岸 哲也(呼吸器内科医員)

【非常勤医師】

島田 梨紗 東京女子医科大学卒

当科のミッション

- 地域急性期呼吸器診療の最後の砦
- 肺がん集学的治療の拠点
- 呼吸器内視鏡手技の普及
- 臨床試験、治験の推進
- 呼吸器内科過疎地域への医療支援
- 女性医師活動支援

呼吸器内科週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
			8:00-8:30 呼吸器内科研修 医レクチャー	8:00-8:30 呼吸器臨床カン ファランス	
午前	病棟/外来業務	病棟/外来業務	病棟/外来業務	9:30/11:00- 気管支鏡 胸腔鏡	病棟/外来業務
午後	13:30- 気管支鏡胸腔鏡	病棟/外来業務	13:30- 気管支鏡 胸腔鏡 15:30- 胸部単純レント ゲン読影研修		13:30- 気管支鏡 胸腔鏡 15:30- 呼吸器内科カン ファランス
		18:00-19:00 内科カンファラ ンス抄読会ミニ レクチャー	17:00-18:00 呼吸器病理カン ファランス		

※週1回程度の内科救急業務 夜間休日は当番医制度を採用

病院当直は月 2 回程度 呼吸器当番 5 日/1 度程度

《地域カンファランス》

笠間、ひたちなか、水戸の各胸部医師会カンファランスに積極的に参加し、地域診療との連携や診療レベルの向上に努めています。いずれのカンファランスも隔月に開催され、笠間は当院が事務局を務め、平均 3 例の症例提示を行っています。ひたちなか、水戸は呼吸器内科専門医を中心とする多施設胸部疾患勉強会です。

呼吸器内科の実績

- ◆ 症例数/治療 平均入院患者数 40 人
肺抗酸菌症（肺結核、非定型抗酸菌症）新規患者数約 30 人/年
肺癌新規患者約 100 人/年
その他入院患者総数約 300 人/年
- ◆ 腫瘍内科をはじめ各専門内科があるため、全人的な医療のなかで高い専門性も追求することを目指している。
- ◆ 排菌があり感染の可能性のある肺結核患者さんの診療が行える呼吸器病棟を持つため、多種の呼吸器感染症の臨床経験を積むことができる。（COVID19 対応のため転用中） 肺癌の治療に関しては呼吸器外科、放射線科、病理との連携が綿密に行われており、診療科を越えた適切な治療の選択が可能である。抗癌剤を用いた化学療法に関しては TORG（胸部腫瘍臨床 研究機構）TCOG（東京がん化学療法研究会）GIFT（群馬茨城福島栃木肺癌研究会）など多施設共同研究に参加しており、最先端の臨床試験を実践することが可能である。
- ◆ 局所麻酔下胸腔鏡 胸膜炎の診断治療に関しては、年間約 50 例、また 1000 例を超える検査実績がある。感染性胸膜炎など緊急局所麻酔下胸腔鏡に対応できる数少ない施設である。
- ◆ 気管支内視鏡検査では極細径気管支鏡、超音波気管支鏡（中枢および末梢）、硬性気管支鏡 を施行することができ、ナビゲーションシステムの併用が可能である。放射線科、呼吸器外科とともに内視鏡処置としてステントやレーザー治療を経験することができる。
- ◆ 総合病院として成人のあらゆる救急疾患に対応できる。肺炎、気管支喘息などの急性呼吸不全、慢性呼吸不全の急性増悪の症例が豊富である。各種呼吸管理、放射線治療、気道血管ステント療法、気道出血に対する血管塞栓療法が可能である。
- ◆ 睡眠時無呼吸症候群などの呼吸モニター診療、治療ができる。

病院概要

施設認定

厚生労働省指定臨床研修病院

厚生労働省指定都道府県がん診療連携拠点病院

茨城県地域がんセンター

茨城県二次救急医療機関

茨城県地域災害医療センター

地域医療支援病院

結核予防法に基づく指定医療機関

学会施設認定

日本内科学会認定内科認定医教育病院

日本呼吸器学会認定施設

日本呼吸器内視鏡学会認定施設

その他 院内保育園 あり